

ジャワ古典文化論講義

第4週 2007年10月26日

テーマ：テキストと「物語」の関係、クリタ・ユガの時代

教員：青山 亨（インドネシア語専攻）<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/0200/0250/>

ねらい：この世界が存在する時間は、クリタ・ユガ、トレーター・ユガ、ドヴァーパラ・ユガ、カリ・ユガの4時代に分けられる。この講義では、テキストと「物語」の関係について理解したのち、東南アジアにおけるテキストと「物語」の関係、そして、クリタ・ユガの時代の「出来事」について学ぶ。

1. テキストと「物語」

- ナラティブ (narrative、ものがたり) :
 - ◇ 語り手、聞き手、テキスト、コンテキスト、ストーリー (メッセージ)
- ストーリー :
 - ◇ 時空間 (time-space)、人物 (character)、行為 (act)、出来事 (event)
 - ◇ 時空間としてのユガ、ジャンブドヴィーパ
- インドのテキスト :
 - ◇ シュルティ (天啓文献) : ヴェーダ、口承
 - ◇ スムルティ (記憶文献) : 叙事詩 (ラーマーヤナ、マハーバーラタ)、プラーナ、創唱者
 - ◇ 古層のテキストから新層のテキストへの進化 : 物語の整理・統合
 - ◇ ルドラ→シヴァ、ブラーフマン→ブラフマー、ヴィシュヌ→10のアヴァターラ

2. 東南アジアのテキストとインドの「物語」

- テキストの形態 : 二次的なテキスト
 - ◇ 翻訳テキスト、翻案テキスト、浮き彫り、彫刻、演劇
- インド世界と東南アジア世界を結びつける「物語」的仕掛け
 - ◇ 転生、予言
 - ◇ 「言葉の力」 : マントラ (呪文)、予言、呪い

3. クリタ・ユガの「出来事」

- 宇宙の中心としてのメール山 : アンコールワット、バリ・ヒンドゥー寺院、マスジッド
- 乳海攪拌とアムリタ : アンコールワット、バリ
- ガルダとナーガ : ジャワ、タイ
- ガネーシャの誕生 : 死と再生

参考図書 : 今回の講義のテーマに関わるもの

青山 亨. 1994. 「叙事詩, 年代記, 予言: 古典ジャワ文学にみられる伝統的歴史観」. 『東南アジア研究』32(1):34-65.

東南アジアのテキストとインドの「物語」の結びつけ方の分析.

上村勝彦. 2003. 『インド神話—マハーバーラタの神々』(ちくま学芸文庫)筑摩書房.

インド神話についての信頼できる入門書.